

環境にやさしい消費者になろう

■プログラムの概要

ねらい	買い物ゲームを通して、グリーンコンシューマー（環境にやさしい消費者）として行動できるよう、環境の観点から商品やお店を選ぶのに役立つグリーンコンシューマーの具体的な知識と方法を学ばせる。		
キーワード	エネルギー、ごみ・資源、食育		
対象	小学3年～中学3年		
時間	90分	実施場所	教室
使用するもの	ワークシート（個人用、グループ用）、8つの商品群ごとの商品シート、解説用パワーポイント資料、パソコン、プロジェクター		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 環境への負荷が少ない商品を選ぶ2. 買い物ゲーム、グループワーク3. 解説4. まとめ		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
15分	<p>＜環境への負荷が少ない商品を選ぶ＞</p> <p>次の8つの商品群に各2種類の類似商品を用意し、各商品群の中から環境にやさしいと思う商品を各自で選択し、なぜその商品を選択したか理由をワークシート（個人用）に書かせる。</p> <p>どのような点が環境にやさしいか具体的に記入させる。</p> <p>① トイレットペーパーA 「シングル・再生紙・芯なし・130m」 / 「ダブル・パルプ・芯あり・30m」</p> <p>② トイレットペーパーB 「シングル・再生紙・芯あり・60m」 / 「ダブル・再生紙・芯あり・30m」</p> <p>③ 緑茶 「袋入り茶葉 100g」 / 「ペットボトル入り 500ml」</p> <p>④ スポーツドリンク 「袋入り粉末 1ℓ用」 / 「ペットボトル入り 500ml」</p> <p>⑤ きゅうり A 「ばら売り」 / 「食品トレイ入り」</p> <p>⑥ きゅうり B 「板橋産露地栽培」 / 「〇〇県産温室栽培」</p> <p>⑦ インスタント麺 「ノンカップめん」 / 「カップめん」</p> <p>⑧ 蛍光マーカー 「カートリッジ詰め替え式」 / 「使いきり」</p>	<ul style="list-style-type: none"> •時間の都合で商品を加除してもよい。 •対象学年に身近な商品があれば入れてもよい。 •小学3、4年生で行う場合には、①トイレットペーパーA、③緑茶、⑤きゅうり A などが分かりやすい。 •商品はこのほかに、消しゴム（プラスチック製と非塩ビ製）など文具類、食料品、衣類でも環境配慮品とそうでないものがあることができる。 •グループワークする際に、自分の考えが言えるように他と相談しないで自分の意見を書くよう指導する。 •選択肢には簡単に選べるものと、少し難しいものを入れる。
40分	<p>＜買い物・グループワーク＞</p> <p>(1) 買い物・グループワーク グループの中で各自が環境に良いと思う商品とその理由を話し合い、グループとしての意見をワークシート（グループ用）にまとめる。（30分）</p> <p>(2) 発表 商品群ごとに発表グループを決める。順次グループの代表者が環境にやさしいと思う商品とその理由を述べる。（10分） 発表グループ以外で、違う意見がある場合は理由を発表し、全員でどちらが環境にやさしいか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •グループごとに発表する商品を優先的に話し合い、時間があれば、他の商品について話し合うようにしてもよい。 •話し合いが進まない場合は、司会者や発表者などを決めたりして話し合いがスムーズに進むようアドバイスする。

時間	学習内容	指導上の留意点
25分	<p><解説></p> <p>(1) 商品群ごとにクイズも交えながら、環境にやさしいところと問題点を解説する。</p> <p>①トイレットペーパーA：答えは、「シングル・再生紙・芯なし・130m」</p> <p>②トイレットペーパーB：答えは、「シングル・再生紙・芯あり・60m」</p> <p>③緑茶：答えは、「袋入り茶葉 100g」</p> <p>④スポーツドリンク：答えは、「袋入り粉末10用」</p> <p>⑤きゅうり A：答えは、「ばら売り」</p> <p>⑥きゅうり B：答えは、「板橋産露地栽培」</p> <p>⑦インスタント麺：答えは、「ノンカップめん」</p> <p>⑧蛍光マーカー：答えは、「カートリッジ詰め替え式」</p> <p><解説ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造・廃棄時のエネルギー ・容器に使う資源の量、食品の包装 ・板橋産など地元でとれた野菜と地方や海外でとれた野菜の輸送にかかるエネルギーの違い（地産地消） <p>など</p> <p>(2) 商品選びの考え方</p> <p>①食と環境を考える視点</p> <p>②グリーンコンシューマー10原則</p> <p>について説明。普段の買い物の基準として、価格、安全、性能がある。これに環境の視点を加える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズ等の解説は、参考資料を参照 ・パワーポイントでイラストやグラフを使って解説する。 ・グリーンコンシューマーの10原則は、参考情報を参照
10分	<p><まとめ></p> <p>今後の生活の中で環境に配慮しながら消費者として行動するにはどのような点が大切か考え、ワークシート（個人用）に記入する。</p>	

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート（個人用）	1人1枚	
ワークシート（グループ用）	1グループ1枚	
8つの商品群ごとの商品シート	1グループ1セット	
解説用パワーポイント資料	1セット	
パソコン	1台	
プロジェクター	1台	

■実施にあたって留意する点

- 商品の実物（見本）があると、商品を見分けるポイント等も示せるので具体的な学習となる。
- 本プログラムでは、あくまで「環境にやさしい」、「環境に配慮した」という視点で買い物をする場合という設定で行う。ただし、実際の買い物では、価格や使い勝手、デザイン等の様々な視点があること、その中で環境という視点を加える必要性を考えてもらう。
- 本プログラムの事前や事後に、ごみ処理にかかるエネルギー消費、3R（リデュース・リユース・リサイクル）等について学習を行うと効果的である。
- 環境に配慮している商品については、日常生活に密接なものをできるだけ多く挙げさせる。
- 板橋区の資料（特に環境分野）を活用する。
- 生徒が自主的に活動し、将来の生活に役立てるように指導を工夫・展開する。